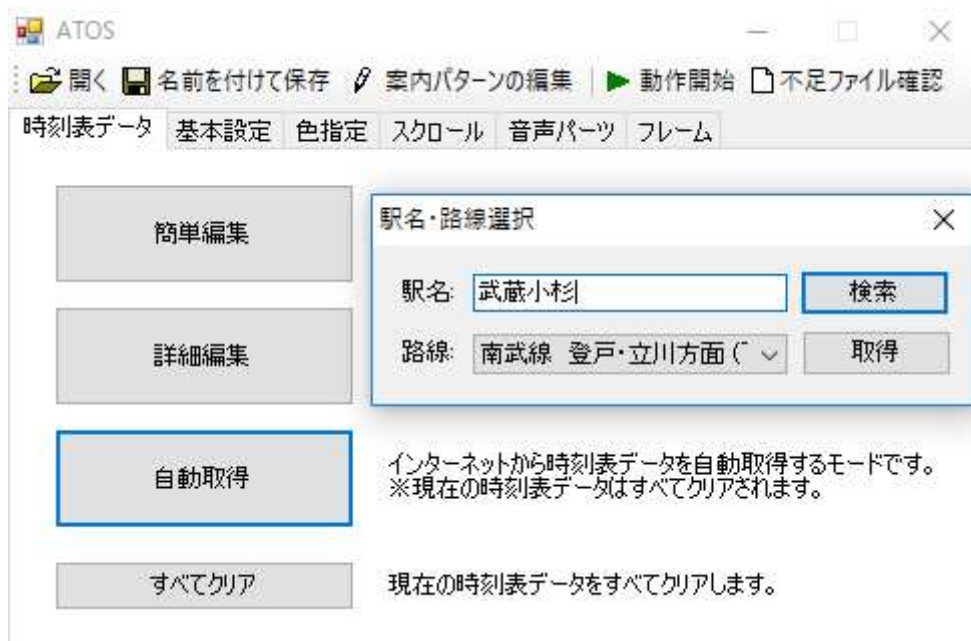


基本的な設定手順

1. 時刻表の設定を行います。

☆時刻表データタブの自動取得から駅名を検索、路線名を選択します。



2. 発車標の色設定を行います。

次のような発車標を設定するとします。

種別	行先	時刻
快 速 立	川	1 2:3 4
各 準 立	川	1 2:3 4

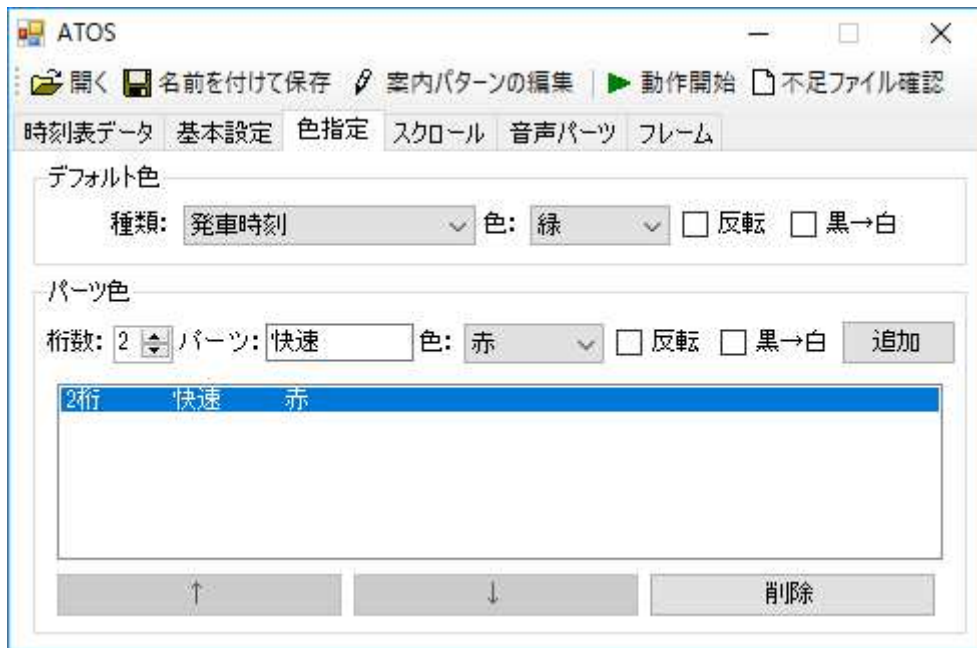
- ・種別は2桁で基本的に緑色、快速の時赤色
- ・行先は3桁で常に橙色
- ・時刻は3桁で常に緑色

☆色指定タブの上部「デフォルト色」から次の設定をします。

- ・種類：種別 色：緑
- ・種類：行先 色：橙
- ・種類：発車時刻 色：緑

☆下部「パーツ色」から次の設定をします。

- ・桁数：2 パーツ：快速 色：赤



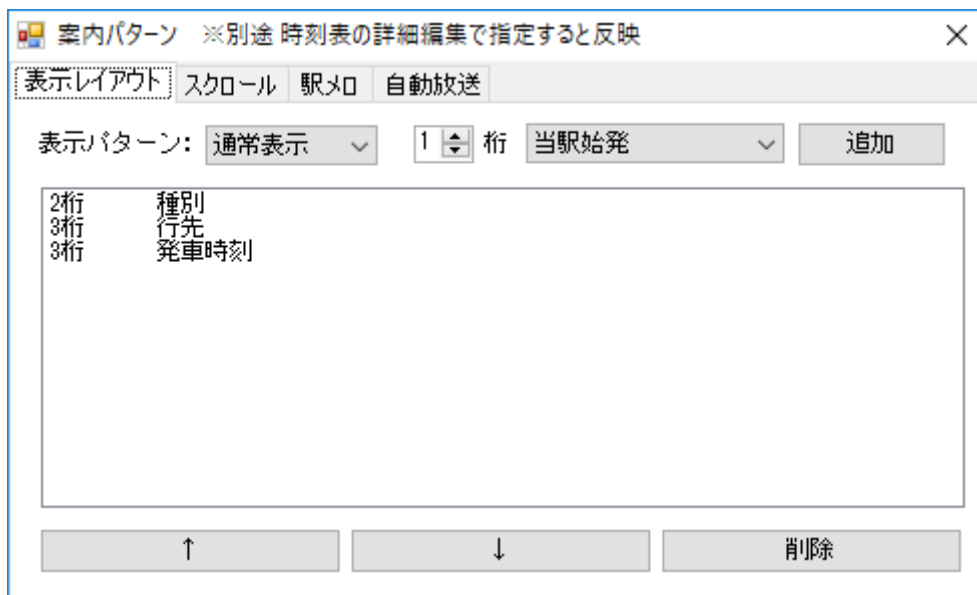
3. 発車標の割当を設定します。

基本設定では発車標をどのように表示するかの設定をしていないので、どの列車をどのように表示するかは別で設定します。

☆案内パターンの編集からキャンセルをクリックします。

☆表示レイアウトタブで次の設定をします。

- ・表示パターン：通常表示 2桁 種別
- ・表示パターン：通常表示 3桁 行先
- ・表示パターン：通常表示 3桁 発車時刻

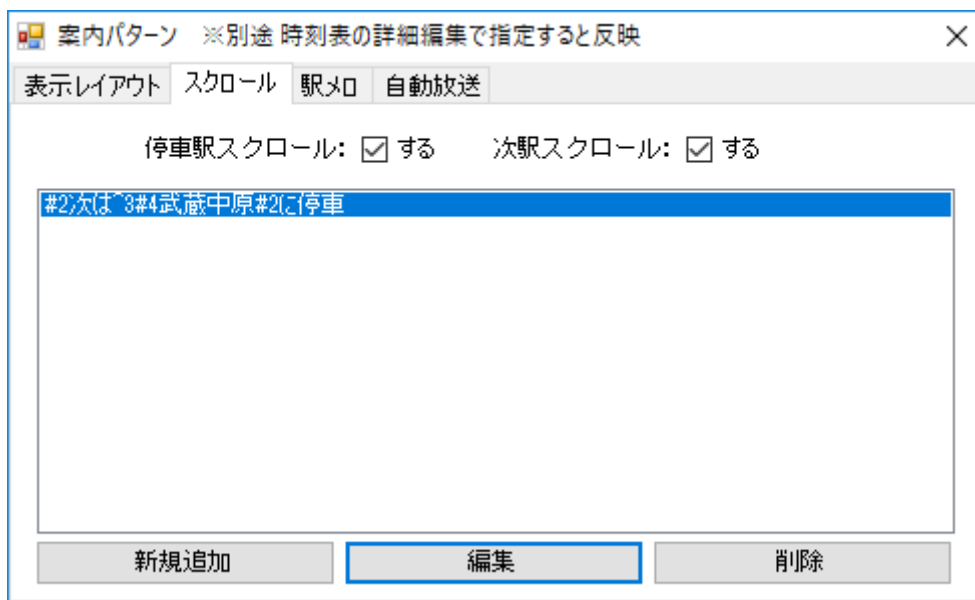


※発車標によって、表示が切り替わる場合はその割当を交互表示に追加します。

4. スクロールの設定をします。

☆スクロールタブから停車駅スクロール(この電車は途中、○○○○、…、に停車致します)・次駅スクロール(次は、○○○○に停車致します。)の有無を設定します。

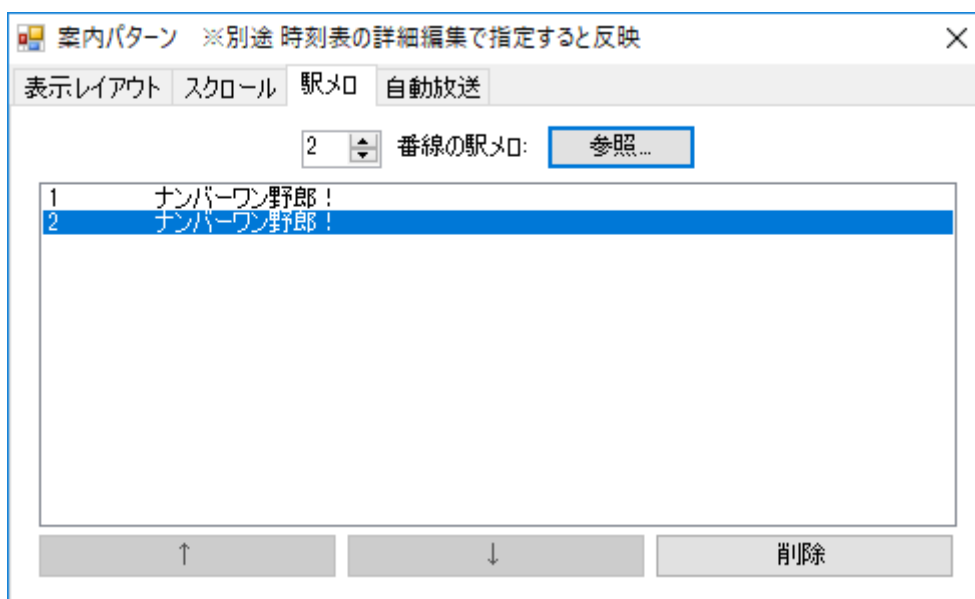
☆特定の列車でのみ表示したいスクロールを設定します。



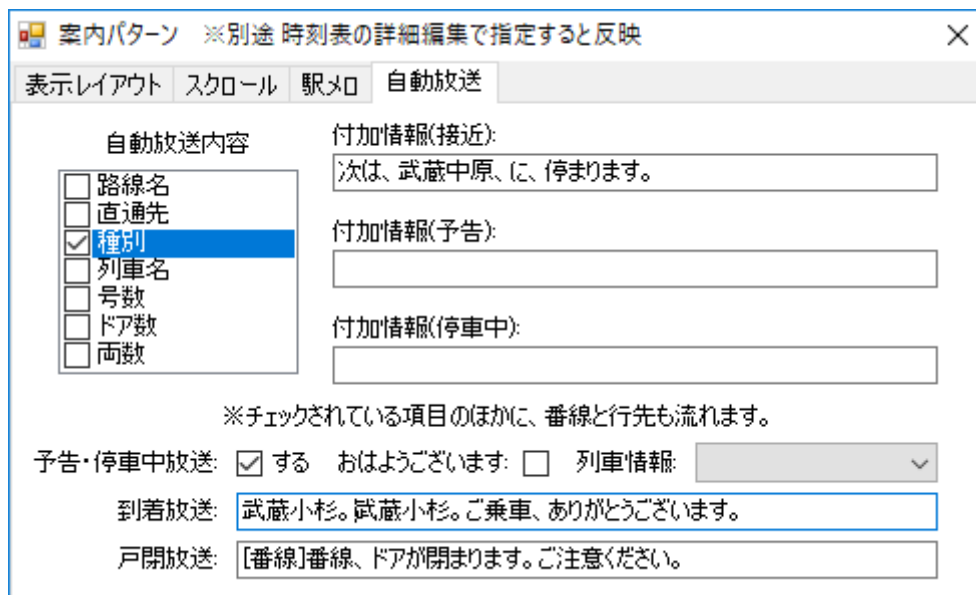
5. 放送の設定をします。

☆流したい駅メロを「放送駅メロ」フォルダに.wav ファイルで配置します。

☆駅メロタブから番線と駅メロを選択します。

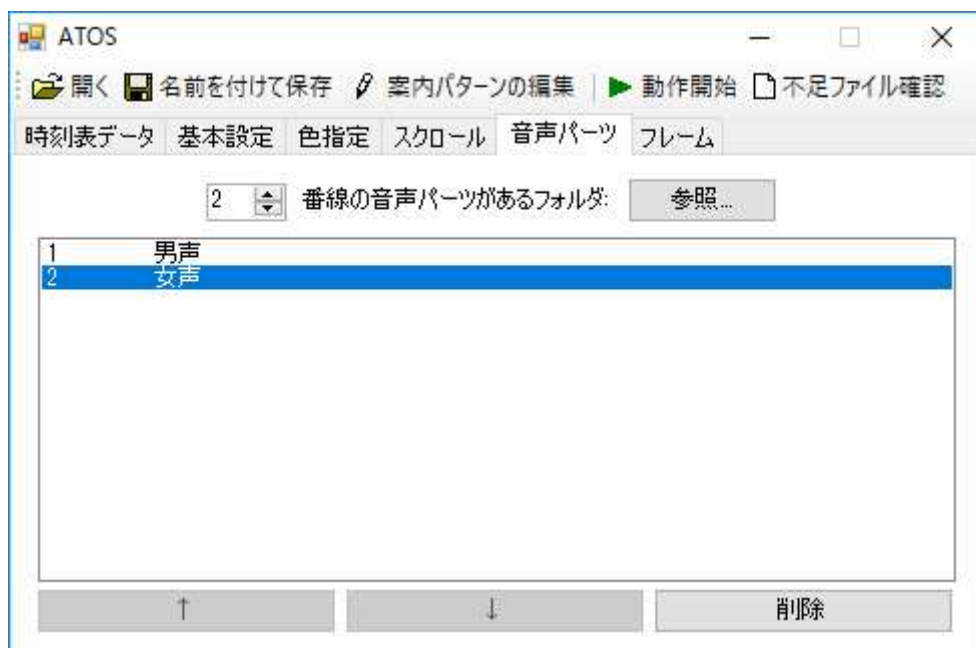


☆放送パーツを「放送♀女声」または「放送♂男声」フォルダ.wav ファイルで配置します。
 ☆自動放送タブから自動放送で流す内容のチェックを入れ、必要であれば到着放送などを設定します。



※放送パーツは、ご自身で録音や CD 音源を抽出したものを、フリーソフト (SoundEngine Free)等を用いて編集してください。必要なパーツは一通りの設定が終わった後、メイン画面の「不足パーツ確認」から確認できます。

☆×ボタンを押して案内パターンを保存後、音声パーツタブでどの番線で誰の放送を流すかを設定します。



6. 案内パターンを設定をします。

☆時刻表データタブの詳細設定を開きます。

☆上部の一括置換などを利用して、番線を設定します。

※全列車を 2 番線に設定する場合は「種別 が * の行の 番線 を 2 に置換」とします。

☆上部の一括置換などを利用して、案内パターンを設定をします。

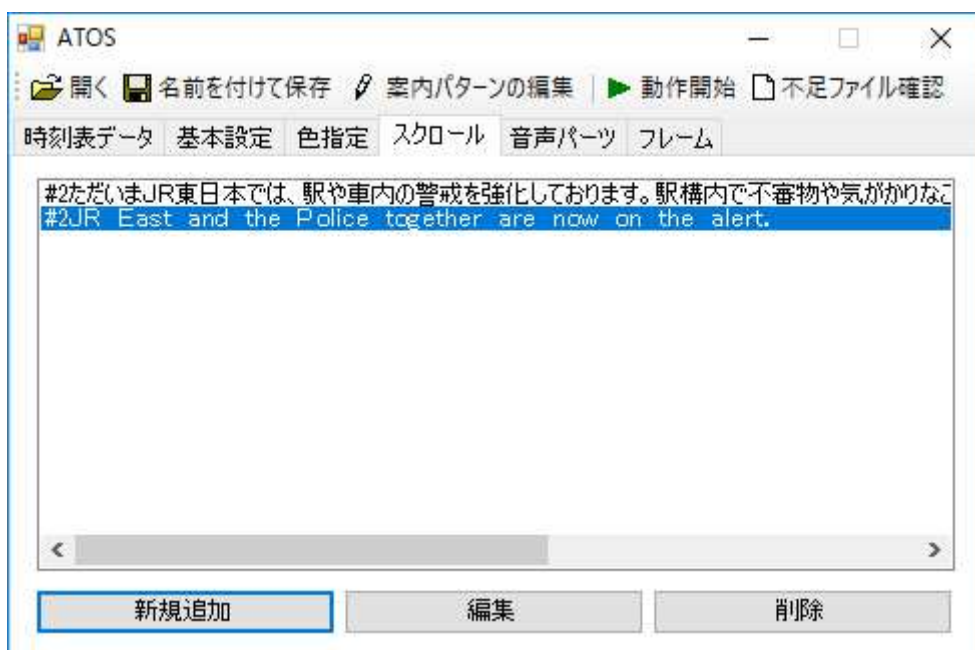
※快速列車のみ表示を変えたい場合は「種別 が 快速 の行の 案内パターン を参照して置換」とします。

通	列車	当駅止まり	当駅始発	到着時刻	発車時刻	路線名	直通先	種別	行先	列車名	号数	両数	ドア数	クリーン車	番線	その他1	その他2	その他3	その他4	その他5	案内パターン
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10:17	10:17			各駅停車	立川					なし	2					1065F	武蔵小杉駅各停
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10:20	10:20			快速	立川					なし	2					4061F	武蔵小杉駅快速

☆×ボタンを押して詳細設定画面を閉じます。

7. 必要であればスクロールの設定をします。

☆スクロールタブから列車に関係なく表示するスクロールを設定します。



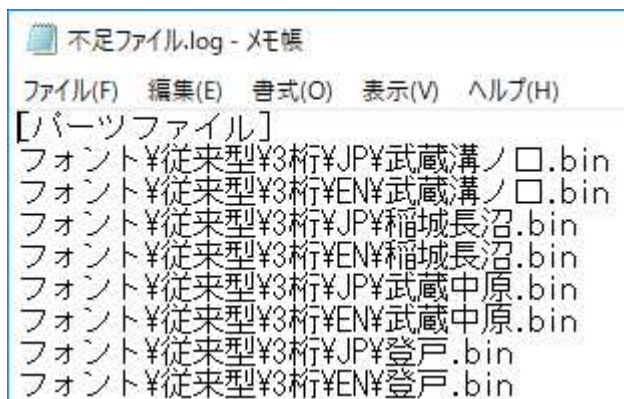
8. 必要であればフレームの設定をします。



※ラベルは¥n で改行できます

9. パーツの作成をします。

☆不足ファイル確認から、必要なパーツを調べます。



※日本語の時の表示は JP フォルダ、英語の時の表示は EN フォルダに配置します。

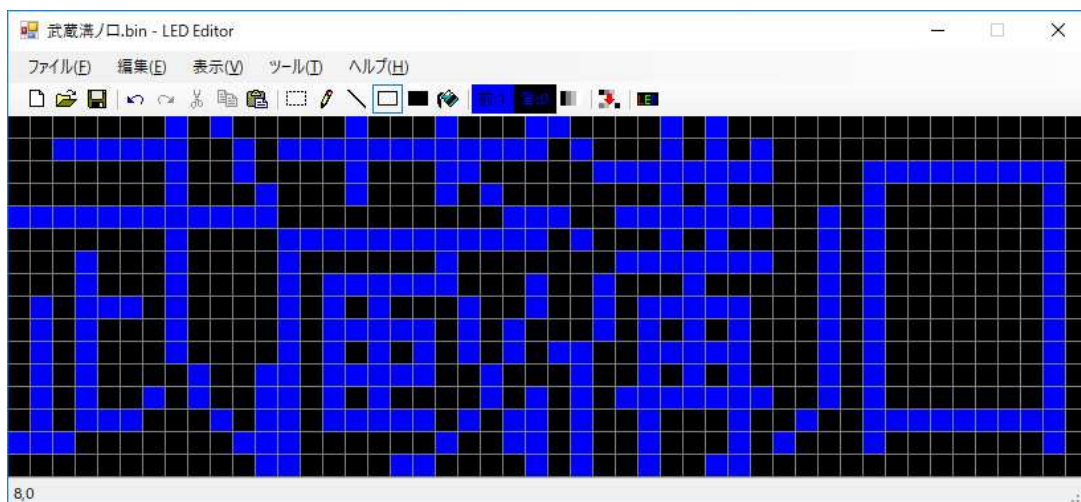
☆LED Editor を開き、新規作成をします。

※1桁16ドットなので、3桁武蔵溝ノ口を作成する場合は横幅：48、縦幅：16です。

☆前景色を1にします。(前:7をクリックし、1(青)をクリックします)



☆写真等を参考にしながらドットを打ち、確認した名前でも保存します。



※どんな表示も前景色 1(デフォルトは青)で作成します。ATOS 発車標ソフトでは表示色タブで設定した色に置き換えて表示されます

10. 設定の保存をして動作開始します。

☆ATOS 発車標ソフトで設定した内容を、名前を付けて保存します。

☆動作開始ボタンを押すと設定した内容で動作します。



11. 同梱しているサンプルの設定ファイルや案内パターンファイルを参考にして、お好きなカスタマイズをお楽しみください。